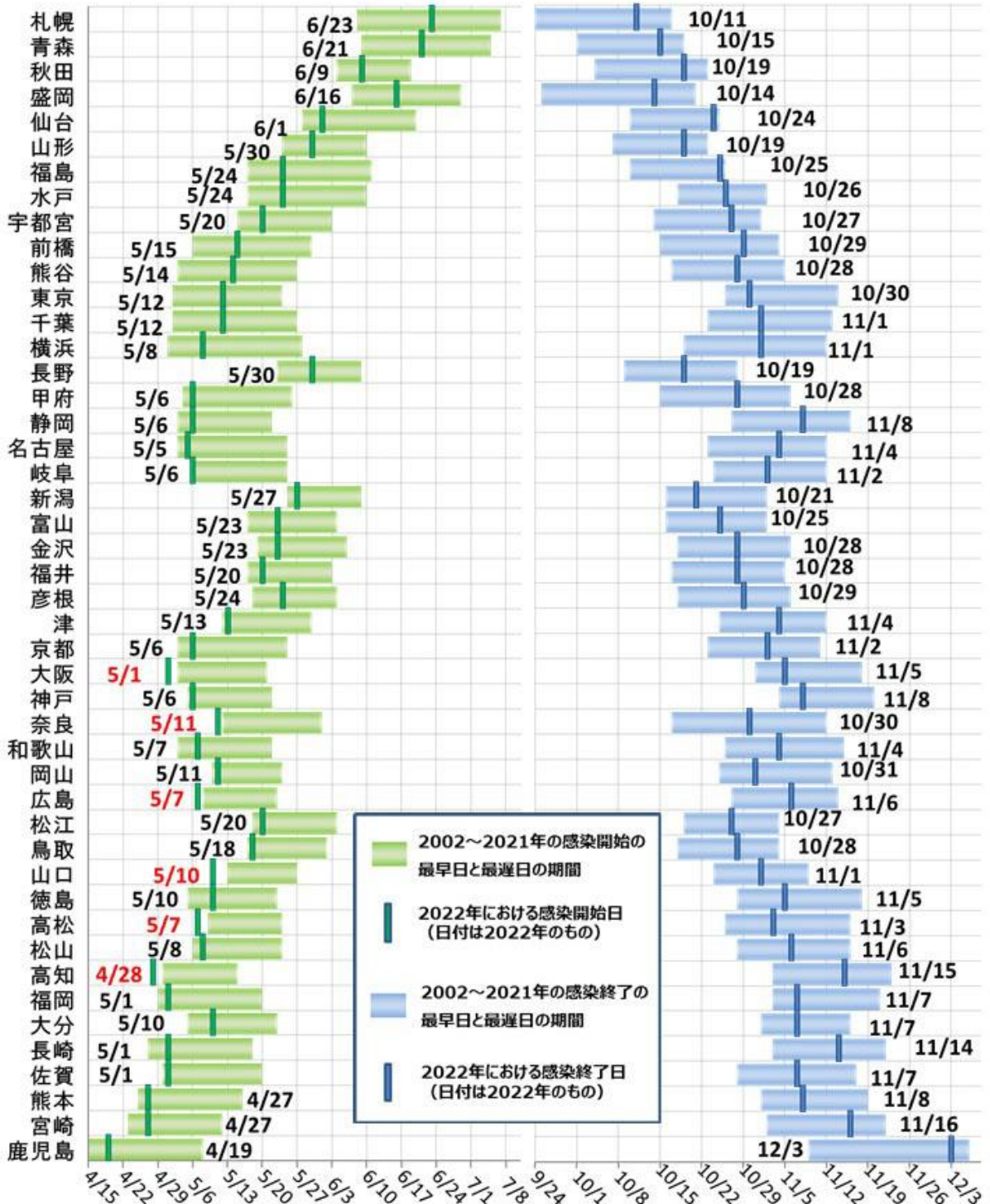


HDU※を用いた近年の犬糸状虫感染期間 (2022年データ集計)

犬糸状虫症は、予防薬の普及と飼育形態の変化等によりその発生は減少傾向にあり、犬で最も予防が普及・浸透した感染症の1つと言えます。しかし、感染源が消滅したわけではなく、軽視できない重要な感染症であることには変わりありません。

犬糸状虫症予防薬は、確実な予防が可能な優れた薬剤ですが、**投薬期間と確実な投薬を遵守**することが重要なポイントになります。



HDU※を用いた各地における2022年の犬糸状虫感染開始日・終了日および近年(2002~2021年)の犬糸状虫感染開始・終了の最早日と最遅日(共立製薬調べ)

※HDU (Heartworm Development heat Unit) とは犬糸状虫を媒介する蚊の体内でマイクロフィラリアが感染幼虫に発育するのに必要な積算温度の単位です。